

おそいひと

2008(平成20)年3月6日鑑賞〈東映試写室〉

★★★



監督・編集=柴田剛/出演=住田雅清/とりいまり/堀田直哉/白井純子/福永年久/有田アリコ (シマフィルム配給/2004年日本映画/83分)

……身障者を主人公とした超感動作が韓国映画の『オアシス』(02年)。しかし、柴田剛監督が実在の重度身障者の住田雅清を主人公とした映画のテーマは、「身障者と犯罪」という、従来のタブーを破ったもの……？ こりゃ賛否両論が巻き起こり、好き嫌いが分かれるのは当然。さらに、私に言わせれば「わかった派」と「わからない派」の両極分解も……？ しかして、あなたの賛否は？ お好みは？ 理解度は？

すごい問題作、らしい！

1975年生まれの柴田剛監督の長編第2作目はすごい問題提起作で、賛否両論、好き嫌いがはっきり分かれるはず。

プレスリリースによると、『おそいひと』は『TOKYO FILMeX2004』のプレミア上映以来、センセーショナルなテーマのため日本映画界から封殺されつづけてきた問題作。海外映画祭での高い評価が逆輸入し、3年という月日を経て、ついに日本凱旋上映が決まった」とのことだ。

主人公は、実在の重度身体障害者、らしい！

プレスリリースによると、この映画の主人公住田雅清(42歳)は大阪在住の重度身体障害者。重度の脳性麻痺を持つ彼は、移動は電動車椅子、コミュニケーションはトーキングエイドというキーボードで音声を出す機械を使い、介護者のサポートを受けながら自活しているとのこと。また「ショッキングなライブパフォーマンスが熱狂的な支持を受け」ているとのこと。

どこからこんな発想が……？

プレスリリースによると、そんな住田と柴田監督が障害者の自立支援、障害者解放について話し合う中、障害者とは一体どういう存在なのか、障害者が罪を犯した場合、どんな扱いを受けるのが話題になったとのこと。そして、「住田の身体性と暴力、身体障害者と暴力をテーマにした物語は、充分成立するのではないかという発想が生まれ、住田も映画出演に興味を示したため、住田を主人公に、身体障害者が犯罪を犯すという映画の計画が持ち上が」ったというわけだ。

さて、そんな映画にはどんな人物が登場し、住田が誰に対してどんな犯罪を行うの……？ そしてその動機は……？ またその結末は……？

映画はどんな設定に……？

以上は実際の話だが、映画ではさてどんな設定に……？ もちろん主人公住田は住田雅清がナマのまま出演。冒頭に登場する介護者は、おばちゃん（有田アリコ）1人と住田の良き理解者であるバンドマンのタケ（堀田直蔵）。この2人から親切な介護を受けながら、住田は平穏な毎日を暮らしていた。

そんなある日、大学の卒業論文のために介護を経験したいという敦子（とりいまり）が現れたところから、この映画のストーリーが始まっていく。2カ月だけの限定だが、住田のような重度の身障者の介護は大変。また当然2人だけになる機会が多いから、若い女の子はさらに大変。だって身体の動きは不自由でも若い女の子への興味や性欲は健常者と同様にもっているから、それが奇妙な形であらわれたら大変。現にこの映画では「一発やりたい」というメールが入ったりしたから、その手の問題発生の可能性も……？

さらに敦子の友人の彩（白井純子）も住田に興味を示してビデオでの撮影を始めたり、彼女らの仲間たちも住田の「生態」に興味を示し始めたから、さてそこから、どんな問題が……？

住田の生活レベルは……？ 住田の性格は……？

住田がどこからどのような収入を得ているのか、また彼が介護に対していくら支出しているのかは、映画上からは全くわからない。しかし、彼は2階建ての戸建て住宅

に住んでいるからかなり収入はありそう。また映画上の設定でも、彼は阪神障害者解放センターの事務局長をしているとのこと。

この映画を観てビックリするのは、住田はとにかくビールが大好きなこと。特にタケとは食事をしビールを飲んでいるシーンばかりが登場する。それは、おばさんにかわって若いピチピチギャルの敦子が介護に来るようになってからも同じで、ホントにいつもビールを飲んでる感じ。また、タケがバンドの打ちあげなどで本音で語るように、ホントにこのおっさんはわがままそう……？

したがって、こんな住田を見ている限り、「身障者だから気の毒」などという物差しが単純に通用しないことは明らか！

私は「わからない派」……？

この映画に関しては、ここまでが私の評論で書ける限度。すなわち、これ以上書いてしまうと、「重度身障者と犯罪」をテーマとしたこんな問題提起作を観る意欲をあなたがなくしてしまうから。

ただ、私がここではっきり書いておきたいのは、この映画には賛否両論と好き嫌いの他、「わかった派」と「わからない派」に分かれるということ。つまり、この映画の中盤以降に展開される、恐るべき住田の行動がわかるか、わからないかという単純な問題だ。そして、実は私はこれについては「わからない派」。一体住田はなぜそんな行動を……？ それを、動機を含めて私には全く理解できないわけだ。もちろん映画のつくり方は万全で、私はそれに文句をつけるつもりは毛頭ない。また音楽と映像も、好き嫌いは別として実によくできている。

こんな風に、この映画に対するスタンスは観客によって大きく分かれるということを前提として、さてあなたの賛否は？ 好みは？ 理解度は……？

2008(平成20)年3月7日記